

孫の手通信



第7号

平成 21 年 7 月 24 日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 050 (5549) 6005

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

玉川孫一郎、就任一年を振り返る

公約の達成状況と今後の展望

就任以来、多忙のため、お待たせして申し訳ございませんでした。本号より三回にわたってご報告いたします。

玉川孫一郎

第一回（全三回）

○はじめに

私は、豊かな自然環境の中で、子どもの元気な声が聞こえる町、若者が集う町、お年寄りが安心して過ごせる町、そんな町の姿を目指しています。その具体策として、新しいまちづくりの実行宣言、すなわち公約を掲げました。前提となるのは、今までのように行政が全てのサービスをを行うというのは、難しい、住民と行政が役割を分担して助け合いながら新しい町をつくっていく、そういう時代になってきたという認識です。皆様のお力添えで進めてきた新しい町政ですが、就任一年という節目にあたり、公約の達成状況と今後の政策の展望について、ご報告したいと思います。

●情報公開と住民参加の推進、開かれた町役場

【情報公開】

行政が持っている情報を住民が共有していく。それで初めてどういう問題がこの町にあるのか、どういう形で住民

が参加できるのか、わかってきます。

①わかりやすい予算書

役場が持っている情報で一番大事な情報は、皆さんからいただいた税金をどういう仕事に使うのかを明らかにした予算書だと思います。そこで、中学生でも理解できる「わかりやすい予算書」を作成し、町内会を通して皆さんのお手元にお届けしております（役場など公共施設にも置いてあります）。

②町ホームページのリニューアル（デザイン一新）

情報発信強化のために町ホームページのリニューアルを行い、デザインを一新しました。この予算には初年度の町長報酬二〇%カット分を充てています。

③町長交際費

就任直後からホームページで公開しています。

【住民参加】

①町長室開放日

毎月第二木曜日を町長室開放日としていますが、今まで七十一人の方がいらして、町政のさまざまな分野へのご意見、ご提案をいただきました。

②町長懇談会・町長と語る会

二人以上の方が集まればどこへでも出かけていく町長懇談会は九回実施しました。また第一回目の「町長と語る会」は六月七日に東浪見コミュニティセンター（午前）と中央公民館（午後）で開催しました。この語る会は今秋の予算編成前にもう一回開催し、皆さんのご意見を予算に反映したいと考えています。

③住民公募委員

各委員会、審議会の構成メンバーとして、住民からも公募委員に入っていただくようにしています。

●行財政改革、無駄を抑えて夢あるまちづくりの財源を

【役場組織の改編】

役場組織ですが、職員からの提案もあり、十二課を整理統合して八課にしました。その中には新しいまちづくりを進めるための「まちづくり推進課」の新設も含まれます。

それと縦割りの弊害のある係り制を廃止して、グループ制に変えました。中間管理職も廃止しました。一方で、行政改革、窓口の接遇改革、役場庁舎の建設に関しての三つの委員会を組織しました。

【町長報酬のカット】

昨年十月から町長の報酬を二〇%カットしていますが、前述のように初年度はそれを町ホームページのリニューアルに、そして二年目の今年度以降は町民提案事業の財源二百万円に充てています。それと今年六月からは副町長も、本人からの申し出があり、報酬を二〇%カットしています。

【町長専用車の廃止】

町長専用車を今年五月に廃止しました。それとともない、専任運転手も廃止しました。

【ゼロ予算事業】

予算をかけずに職員のアイデアと努力で新しいサービスを提供していくという取り組み、それがゼロ予算事業です。三十くらいの事業が動き出していますが、その中からいくつかご紹介します。

①平日夜間の証明書交付

予約を入れていただければ平日夜間八時まで証明書を交付します。これで通勤帰りの方が役場に立ち寄れることになり、証明書をとりために平日休みをとる必要がなくなりました。

②保育所行事の開放

保育士からの提案で、保育所に通っていないご家庭でも気軽に保育所を体験できるようにとの思いから、保育所行事の開放を行っています。

③全職員による税金徴収

職員の提案で、税金のありがたみを肌で感じようと、副町長以下全職員が税金徴収に町内を回っています。

④お茶のセルフサービス

女性職員の負担を軽減すべく、町長以下全職員がセルフでお茶を入れています。これは男性職員からの提案です。

（第二回につづく）

関連する新聞記事をご紹介します。



一宮町は、写真やイラストを多用した手作りの予算書「町では今年こんな事をします」を作成し、17日から全世帯に配布する。事業名と数字だけの従来の予算書とは違い、中学生でも分かるを目標に編集。事業内容や予算額が視覚的に理解できる力作だ。

「税金がどのように使われているのか」を分かりやすく示そうと、今年度予算59億2852万円の内容をA4判54頁にまとめた。4500部の作成費用は当初250万円を見込んだが、町職員が自前で編集から校正まで担当し、約40万円で済ませた。

一宮町作成「中学生でも分かる」予算書

作成した職員たちは「中学生にも分かる言葉にするのに苦労したが、事業内容をこれまで以上に深く理解できて勉強になった」。議員からも「分かりやすくして地元説明会で大いに役立った」と評判は上々。

肝心なのは予算の中身だが、住民自治の主役である町民が税の使途をチェックするためにも、まずは手にとって読まれる工夫が必要と判断した。

玉川孫一郎町長は「常々、予算書は分かりにくいと思っていて、反響は大きく、作って良かった」と話している。 【吉村建二】

平成 21 年 6 月 17 日 毎日新聞

一宮 町民向けに予算解説書
町長と語る会で行政説明

町長と町民の対話の場「町長と語る会」が7日、一宮町の町立東浪見小学校体育館と町中央公民館で行われた。町民に町政を理解してもらおうと今年度初めて作成された「わかりやすい予算書」が、参加者に初めてお披露目された。

「わかりやすい予算書」は、語る会では、まず玉川孫一郎町長が今年度の予算概要や、公約実現に向けての

「町長と語る会」は、町民に町の行政を語り組みを説明。各課の課長らが「わかりやすい予算書」をもとに、今年度の事業について解説した。町民からは「無駄な経費は削減してほしい」「町への移住を検討する人に、町の魅力を伝える部署が必要」などを伝える部署が必要などといった意見が寄せられた。



町政について町民に説明する玉川孫一郎町長—一宮町立東浪見小学校体育館

平成 21 年 6 月 8 日 千葉日報



by. なこ